

未来投資会議 構造改革徹底推進会合 「医療・介護—生活者の暮らしを豊かに」会合	資料 1
平成 28 年 10 月 20 日	

「医療・介護—生活者の暮らしを豊かに」会合において検討する論点について

2016 年 10 月 20 日

未来投資会議 構造改革徹底推進会合

「医療・介護—生活者の暮らしを豊かに」会合

会長 翁 百合

予防・健康管理と自立支援に軸足を置き、医療・介護現場の負担軽減とモチベーション向上を図りながら、持続可能で質の高い医療・介護を実現し、国民の健康寿命を延伸することを目指す。

1. 医療分野

- (1) 価値のある健康・医療データの収集とそれを基にした IoT・AI 等の革新的技術の活用による医療の質の高度化
 - ・個人、企業、保険者、医療関係者の連携による個々人に最適な健康・医療サービスの提供
 - ・全国どこでも高度な医療サービスを受けられる仕組みの構築
 - ・合理的な人員配置による看護師等の医療関係者の働き方の見直し
- (2) データ利活用等に関する様々な取組みの検証
 - ① オールジャパンでの医療等データの利活用を実現するための基盤の構築
(医療等 ID、「代理機関(仮称)」制度の創設、代理機関を超えた利活用基盤)
 - ② エビデンス・ベースドのヘルスケア・医療の確立に向け、活用目的(※)と収集データの範囲や内容の関係の検討
※ ビッグデータを活用した創薬、個別化された最適な医療・健康サービスの提供、PHRによる健康管理、行政による医療政策(医薬品の費用対効果や医療の質の評価等)への活用 等
 - ③ 現場での医療等データのデジタル化や書き込み方式の統一等の取組みの検証
 - ④ 医療等データ提供を促進するため、データ提供によるメリットが医療現場に実感できる仕組みの構築
- (3) 技術革新の活用(AIによる診療支援や、IoTを活用した遠隔診療等)についての医療現場のニーズと、現在の診療報酬体系や人員・施設基準の関係の検討

2. 介護分野

- (1) 自立支援に向けた取組の強化
 - ① 自立支援に資する質の高い介護を全国で実現するため、高齢者の機能の状態や介護の手法に関する標準化と、それに個性を加味した最適な介護のあり方の検討
 - ② ①のための介護記録のデジタル化・標準化や、データの利活用基盤の構築
- (2) 介護現場の効率化・負担軽減やリハビリに活用できるロボット・センサーや、AIを活用した最適なケアプランの提示等の、技術革新の介護現場への実装
 - ① 限られた人員でも自立支援に資する質の高い介護を実現するために後押しすべき技術革新の内容の検討
 - ② 技術革新の促進に資するデータの利活用基盤の構築
- (3) 技術革新の現場での活用や自立支援の取組と、現在の介護報酬体系や人員・施設基準の関係の検討

3. 医療・介護・健康管理の全体で

- ① 公的保険外サービスと公的保険内サービスを適切に組み合わせることが期待される分野や、医療・介護関係者、民間事業者等の関係者間の役割分担の検討
- ② 医療・介護・保険外サービスに関する一体的なデータ利活用基盤の構築 (以上)